

16th WORLD KENDO CHAMPIONSHIPS

International Kendo Federation

2F, Yasukuni Kudan Minami Bldg.
2-3-14 Kudan Minami, Chiyoda-ku
Tokyo, Japan 102-0074
Tel: +81-3-3234-6271
Fax: +81-3-3234-6007
E-mail: kendo-fik@kendo.or.jp



All Japan Kendo Federation

2F, Yasukuni Kudan Minami Bldg.
2-3-14 Kudan Minami, Chiyoda-ku
Tokyo, Japan 102-0074
Tel: +81-3-3234-6271
Fax: +81-3-3234-6007
E-mail: 16wkc@kendo.or.jp

第 16 回世界剣道選手権大会(16WKC)要項

2014 年 11 月 日

1. 主 催 : 国際剣道連盟 (FIK)
主 管 : 全日本剣道連盟 (AJKF)
後 援 : 東京都剣道連盟 (TKF)

2. 開催地および大会会場 : 日本・東京都
日本武道館

3. 行事日程 : 2015 年 5 月 27 日 (水) ~ 6 月 1 日 (月)

(1) 大会期日 : 2015 年 5 月 29 日 (金) ~ 5 月 31 日 (日)

(2) 行 事 :

月日	行 事 (日中)	(夜)
5 月 27 日 (水)	審判講習会 (審判会議) 地域連盟 (EKF/LAKC) 総会	
5 月 28 日 (木)	FIK 理事会 / 総会 監督会議・団体戦初戦オーダー表 提出	会長招宴
5 月 29 日 (金)	開会式 男子個人選手権 表彰式	自由稽古
5 月 30 日 (土)	開始式 女子個人選手権、女子団体選手権 表彰式	
5 月 31 日 (日)	開始式 男子団体選手権 表彰式、閉会式	サヨナラパーティ
6 月 1 日 (月)	剣道段位審査会 (四段～七段のみ)	

* 組み合わせ抽選会は、最終エントリー確定後に公開で行なう。(6-(4) 参照)

* 参加国は 5 月 27 日までに、主管の全日本剣道連盟大会事務局へ選手団の到着を報告し、
5 月 28 日の監督会議に必ず 1 名は出席すること。

4. 試合規則

試合は全て国際剣道連盟試合・審判規則（2006年12月7日改訂版）により行なう。（その後の改訂がある場合はそれも含む。）但し試合時間は、後述7-(2)-aおよび8-(7)-a-1で定義した時間で行なう。

5. 参加資格

（1）参加国（参加団体）

本大会に参加できるのは、FIK加盟国（加盟団体）のみとする。但し、本大会前年のFIK理事会において、FIK加盟が承認された国（未加盟団体）は、本大会に参加することができる。

（2）参加者

本大会試合に参加する選手は、次の資格を有しなければならない。

- a. 上記参加国（参加団体）の正式登録会員であること。
- b. 最終エントリーの時点で、代表する国の国籍を有すること。（確認のために、パスポートの提示を求められる場合がある。）その国の国籍を有しない者については、事前にその国の会長が理由書を FIK へ提出して審査を受け、最終エントリー前に FIK 会長の承認が得られた場合のみ認められる。

6. エントリー、出場選手登録および組み合わせ抽選

（1）予備エントリー

予備エントリーは、FIK および主管国が各国の参加予定を把握し、大会規模や費用を見積もるために行なうものである。各国は以下について所定の予備エントリー方法で、指定の締切日までに FIK 事務局へエントリーしなければならない。

- a. 第16回世界剣道選手権大会（16WKC）への参加意志
- b. 選手団役員（団長、監督、コーチ、合計5名まで）および選手団選手（男女各10名まで）の予定数
- c. 各競技（男女 個人・団体）への参加意志
- d. 各競技（男女 個人・団体）へ登録する予定の選手数（個人選手権は男女とも最大4名まで、団体選手権は男女とも最大7名まで。）

予備エントリー締切日： 2014年8月29日

（2）最終エントリー（選手団氏名登録と参加競技登録）

各国は、選手団役員（団長、監督、コーチ、合計5名まで）および選手（男女各10名まで）の氏名を明らかにして、最終的に自国選手団としてエントリーする。エントリー者は前述5-(2)の参加資格を満たさなければならない。各国は以下の項目について所定の最終エントリーの方法で、指定締切日までに FIK 事務局へ全員の写真とともにエントリーしなければならない。

- a. 全員の氏名、年齢、段位、国籍
- b. 各競技（男女 個人・団体）への参加意志
- c. 男女個人選手権へ登録する予定選手数（男女とも最大4名まで）

最終エントリーされた選手のみが試合に参加することができる。一旦最終エントリーが FIK 事務局に受理された後は、選手団役員・選手とも変更は認められない。男女とも、団体選手権に出場するためには、最終エントリーする選手が5名以上いなければならない。

最終エントリー締切日： 2015年2月27日

(3) 出場選手登録

各国は最終エントリーした選手のうち、各競技にそれぞれ出場する選手の氏名を登録しなければならない。個人選手権出場選手登録および団体選手権出場選手登録について、それぞれ所定の方法で、下記のそれぞれの締切日までに FIK 事務局へ出場選手氏名を登録しなければならない。

- a. 選手は、個人選手権・団体選手権の両方に出場することができる。
- b. 男子は女子部門の試合に、女子は男子部門の試合に出場することはできない。
- c. 個人選手権出場選手登録は、男女とも各4名以下。
- d. 団体選手権出場選手登録は、男女ともそれぞれ5名以上7名以下とする。
- e. 団体選手権については、前項の人数が揃わない場合、出場選手登録をすることはできない。
- f. 審判は選手として試合に出場することはできない。

個人選手権出場選手登録 締切日： 2015年2月27日（最終エントリーと同時）

団体選手権出場選手登録 締切日： 2015年4月24日

(4) 組み合わせ抽選

男女個人および団体選手権の組み合わせ抽選は、FIK 役員と主管国剣連会長立合いのもとで、最終エントリー確定後すみやかに抽選会を行ない、各国へその結果を通知する。男女団体選手権は、前回大会の成績に基づき、上位チームのシード制とする。（後述 8 - (7) - c 参照。）

なお、組み合わせ確定後に欠場が決まった場合や試合当日欠場があっても、再抽選や組み合わせ変更は行わない。

7. 個人選手権試合の方法

(1) 個人選手権に出場する選手は、個人選手権出場選手として出場選手登録された選手でなければならない。（男女とも最大4名まで）

(2) 試合の方法

- a. 試合は、トーナメント方式とし、男子は時間5分による3本勝負、女子は4分による3本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は延長戦を行なう。延長戦は1本勝負とし、勝敗の決するまで時間を区切らず行なう。
- b. 4つの大ブロックからなるトーナメントラダーへの振り分けは抽選による。但し同じ団体の選手は異なる大ブロックに振り分ける。

(3) 表彰

1位、2位、3位（2名）および敢闘選手8名を表彰する。敢闘選手はFIK 会長の指名による若干名の選考委員により決定される。

8. 団体選手権試合の方法

- (1) 団体選手権は、男女とも、各団体から1チームが参加できる。
- (2) 男女とも、1チーム5名以上7名以下の出場選手登録済みの選手で構成されなければならない。
- (3) 試合は男女とも5人制により勝敗を決する。（なお、試合当日において、登録選手の棄権により出場選手が3名に満たなくなった場合、そのチームは団体選手権試合に出場することはできない。当日棄権者が出た場合、1名であれば次鋒の位置、2名であれば次鋒および副将の位置を棄権とする。）
- (4) 試合毎の出場選手は、団体選手権出場選手として出場選手登録された選手の中から選ばれ、その編成は試合の都度変更できる。

- (5) 対戦チームが決まり次第、両チームが同時に試合の出場選手オーダー表を試合場主任に提出することとする。(但し、そのチームの最初の試合のオーダー表は、監督会議で大会事務局へ提出されなければならない。)なお、前試合からオーダーに変更がない場合も、必ず試合毎にオーダー表を提出しなければならない。
- (6) オーダー表と異なる順番で試合に臨んだ場合、個々の試合において主審の「始め」の宣告前に判明した場合は、罰則なくオーダー表の順番に修正することができる。オーダー表と異なった個々の試合で主審の「始め」の宣告後に判明した場合は、その時点で審判はその試合を中止する。オーダー表と異なる順番で試合した1選手、およびそれにより順番が異なってしまうもう一人の選手については、その場で負けとし、両方の相手選手に2本を与える。また、そのチームの選手全ての対戦が終了し勝敗が決定した後、その試合のチーム同士の対戦終了の礼までに判明した場合は、オーダー表と異なる順番で試合をした選手全ては負けとし、相手選手それぞれに2本を与える。チーム対戦終了の礼の後に判明した場合、その対戦は成立したものとする。
- (7) 試合の方法

a. 個々の試合

- 1) 団体選手権における個々の試合は、男子は時間5分による3本勝負、女子は4分による3本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。
- 2) 選手が健康上およびその他の事由により試合を棄権する場合、その試合は棄権側を負けとし、相手選手に2本を与える。但し、双方の選手とも棄権した試合は、どちらにも勝敗・本数を与えない。
- 3) 代表者戦は1本勝負とし、勝敗の決するまで時間を区切らずに行なう。

b. チームの勝敗

トーナメントにおけるチームの勝敗は、以下のようにして決定される。

- ① 勝者数の多いチームを勝ちとする。
- ② 勝者数が同じ場合は、取得本数の多い方を勝ちとする。
- ③ 勝者数も取得本数も同じ場合は、代表者戦により勝敗を決定する。

c. ブロックへの振り分け

チームの振り分けとブロック内での配置は、抽選による。但し、前回大会の1位から3位までの4チームをシードとし、それぞれ別の大ブロックに振り分ける。(3位位置は抽選。)

(8) 表彰

男女それぞれにおいて、1位、2位、3位(2チーム)および敢闘選手8名を表彰する。敢闘選手はFIK会長の指名による若干名の選考委員により決定される。

9. 大会役員および審判員の選任

- (1) 大会役員の任命は、前回大会に準じて、FIK本部が行なう。
- (2) 審判団は、審判長1名、審判主任4名、審判員24名以上、計29名以上で構成する。
- (3) 審判員の選任

a. 選考

FIK加盟団体会長は、次の①から⑤に定められた条件を満たす者(各国6名以下)を、所

定の方法で FIK 会長に推薦する。各国からの推薦者に FIK 会長推薦の者を若干名加えた候補者の中から、FIK 会長が委嘱した選考委員会が WKC 審判員を選考する。

- ① FIK 加盟団体の会員であり、原則として当該国の国籍を有する者。
- ② 年齢 35 歳以上、70 歳以下（2015 年 1 月 1 日時点）の者。
- ③ 剣道 5 段以上を有し、健康体であり、常時稽古に参加している者。
- ④ FIK 剣道試合・審判規則を熟知し、国際大会や国内選手権大会および同程度の大会の審判経験が豊富で、審判能力の高い者。
- ⑤ 前回大会以降、FIK ゾーン別審判講習会に最低 1 回は参加しており、かつ大会の数ヶ月前に日本で行われる審判講習会および WKC 期間中に行われる審判講習会に必ず出席できる者。

b. 審判員の委嘱

FIK 会長から選考された者の通知を得た加盟団体会長は、委嘱を受けた本人の諾否の確認結果を直ちに FIK 事務局に報告するものとする。

c. 審判長、審判主任および日本人審判員は FIK 会長が指名する。

10. 費用の負担区分

- (1) 全ての参加者は、それぞれの国と開催地の往復旅費、滞在中の宿泊費および食費を自己負担とする。特に大会期間中の宿泊費、食費の負担額、予約および支払方法等詳細については、主管団体から事前に参加各国へ指示されるので、その指示に従うこと。
- (2) 審判員については、審判講習会前日（5 月 26 日）の夕食から審判講習会翌日（5 月 28 日）朝食までの宿泊および食費を FIK が負担するものとし、相当額を各審判員が所属する FIK 加盟団体へ支給する。その他の大会期間中の宿泊および食費は自己負担またはその審判員が所属する FIK 加盟団体負担とする。
- (3) 大会および関連行事にかかわる費用については、FIK および主管団体が協議の上、それぞれの負担分を決定する。

11. その他

- (1) 各国選手団、審判、FIK 役員は、開催地に到着後、必ず大会事務局へその到着を連絡し、主管団体から必要書類や資料等を受け取らなければならない。
- (2) 試合の直前に行なわれる選手の呼び出しがあつてから 5 分以内に現れない選手は失格とし、その試合に出場できず、不戦負けとなる。
- (3) 担当審判員の合議により、薬物（アルコール類を含む）の影響下にあることが明瞭と認められた選手は失格とされ、その試合に出場できず、不戦負けとなる。なお、大会期間中または大会期間前後にドーピング検査が実施される場合は、FIK および世界アンチ・ドーピング機構（WADA）の規程に従って実施される。なお、ドーピング検査により失格者が出た場合は、前回大会同様の順位確定方法で、最終順位を確定する。
- (4) 各国選手団、審判、FIK 役員は、自国において旅行期間中の疾病傷害保険に必ず加入してくることとする。
- (5) 自由稽古の参加者は大会参加者のうち稽古希望者とする。
- (6) 大会翌日の全日本剣道連盟による段審査は、剣道四段・五段・六段・七段のみ行う。

(以上)

本要項の和文と英文に齟齬があつた場合は、和文を優先とする。